



個別指導塾フォルテ

×



算数

4年生

第1節

を使った計算

【例題1】わからない数を□として、たし算の式を表そう！

本が16さつあります。新しく何か買ったので、本は全部で28さつになりました。新しく買った本の数を□さつとしてたし算の式を表し、□に当てはまる数を求めましょう。

解き方

(はじめにあった数) + (買った数) = (全部の数)

という式になるので

$$16 + \square = 28$$

よって、ひき算 $28 - 16 = \square$ で求められる。

$$\begin{aligned} \square &= 28 - 16 \\ &= 12 \end{aligned}$$

答え

12さつ

【例題2】わからない数を□として、かけ算の式を表そう！

同じ数ずつ、8人の子どもにえんぴつを配ると、全部で48本必要でした。1人分の数を□本としてかけ算の式を表し、□に当てはまる数を求めましょう。

解き方

(1人分の数) × (人数) = (全部の数)

という式になるので

$$\square \times 8 = 48$$

よって、わり算 $48 \div 8 = \square$ で求められる。

$$\begin{aligned} \square &= 48 \div 8 \\ &= 6 \end{aligned}$$

答え

6本



き本をマスターしよう！

ゼルビアには37人の選手がいます。次の問いに答えましょう。

(1)何人かの選手がケガをしてしまい、練習に出られなくなったので、練習に出られる選手は33人です。ケガをした選手の数を□人として、ひき算の式を表し、□に当てはまる数を求めましょう。

(2)ゼルビアに新しく何人かの選手が加入し、練習に出られる選手が増えました。(1)でケガをしていた選手もケガを治したので練習に参加し、全部で40人の選手が練習をしました。新しく加入した選手の数を□人として、たし算の式を表し、□に当てはまる数を求めましょう。



【コラム】 「□を使った計算」の正体とは！？

コラム：「□を使った計算」の正体とは！？

この回のテーマ「□を使った計算」は、実は「方程式(ほうていしき)」という考え方のスタートラインなんだ。

方程式とは、まだ分かっていない数を表す文字をふくむ式のこと。代数学(だいすうがく)や幾何学(きかがく)、解析学(かいせきがく)など、いろんな学問に使われているよ。

今の方程式のとき方が作られたのは、およそ1700年前のころ。

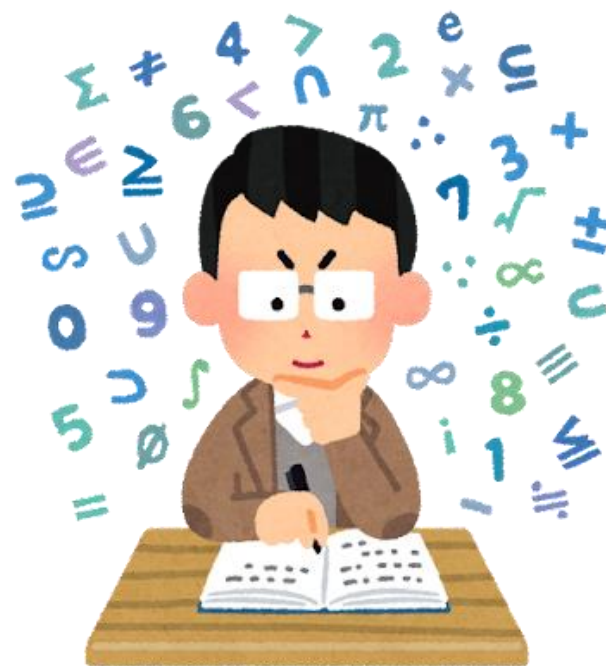
ギリシャにいた数学者ディオファントスという人の発明らしい。

さらに中国では、それよりもっと古い1900年ほど前「九章算術」という数学書で説明されていたんだ。

「方程」の名前の由来は、この書物の八章に記じゆつされていたことにあるんだよ。

「方程 = 格子状(こうしじょう)にならべること」や、「方 = 比、程 = 求」って意味らしい。

今日勉強したことが、約2000年もの間、人類が頭をひねり続けてきたれきしの入門なのだと思うと、
なんだかワクワクしてくるね！





(3) 同じ長さずつ5人の選手が走り、全部で1500m走りました。

1人分の長さを□mとしてかけ算の式を表し、□に当てはまる数を求めましょう。

答え

